

令和4年度 清瀬市立清瀬中学校 学校図書館経営方針

清瀬市立清瀬中学校図書館長
小池 雄志郎

1 学校の教育目標

人間尊重を基本理念に、国際的視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして、正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる。

⇒ 「前に踏み出す力」の育成

健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる。

⇒ 「チームで働く力」の育成

高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる。

⇒ 「考え抜く力」の育成

2 めざす学校図書館像

(1) 学校における「情報センター」であると同時に、生徒の心の「拠り所」

(2) 生徒が主体的に学習する意欲育てる「場」

⇒ 「前に踏み出す力」の育成

(3) 読書を通して言葉の理解力、コミュニケーションの能力を育成する「場」

⇒ 「チームで働く力」の育成

(4) 調べ学習を通して生徒の課題発見・解決能力を育成する「場」

⇒ 「考え抜く力」の育成

3 特色ある取組の推進

(1) 何ができるようになるか ―育成を目指す資質・能力―

本校の教育目標に示された生徒像を具現するため、令和3年度は学校図書館及びICTを活用した情報教の推進を通して「考え抜く力」を育成することを主眼に置きます。

(2) 何を学ぶか ―カリキュラム・マネジメント―

「課題対応能力」、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力」といった、キャリア教育における基礎的・汎用的能力の獲得に着目し、各教科や総合的な学習の時間、特別活動等と関連させ、調べ学習による課題発見・解決学習を展開します。

(3) どのように学ぶか ―社会に開かれた教育課程―

調べ学習を、学校支援本部や青少協、コミュニティハウス等、地域の支援による体験的な学習活動と連動させます。学びの要素を「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」に整理し、学校外における体験的な学習活動と各教科等の学習活動との連動を図ります。

(4) 何が身に付いたか ―効果検証―

各種調査等の結果に加え、体験学習事前事後の成果物をもとに効果検証を行います。また、学校支援地域本部や学校運営連絡協議会、PTA評議員会等によるグループ・フォーカス・インタビューの実施も視野に入れます。

4 学校図書館経営の基本方針

(1) 学校図書館支援員を活用し、蔵書の充実を図ります。

(2) タブレット端末等を含めたICT機器の活用指導の充実に努めます。

(3) 図書委員会の活動を活性化し、適切な資料の準備や提供に努めます。

5 学校図書館運営に係る重点と具体的な方針

【重点1】適切な管理運営

- (1) 生徒や教員の希望を参考にしながら、常に良書の購入を心がけ、蔵書の充実と適切な除籍を行います。
- (2) データベースを活用し、蔵書の管理と運営を確実にを行います。
- (3) 図書委員会を活性化させ、広報活動などを進め、学校図書館の機能を充実させます。

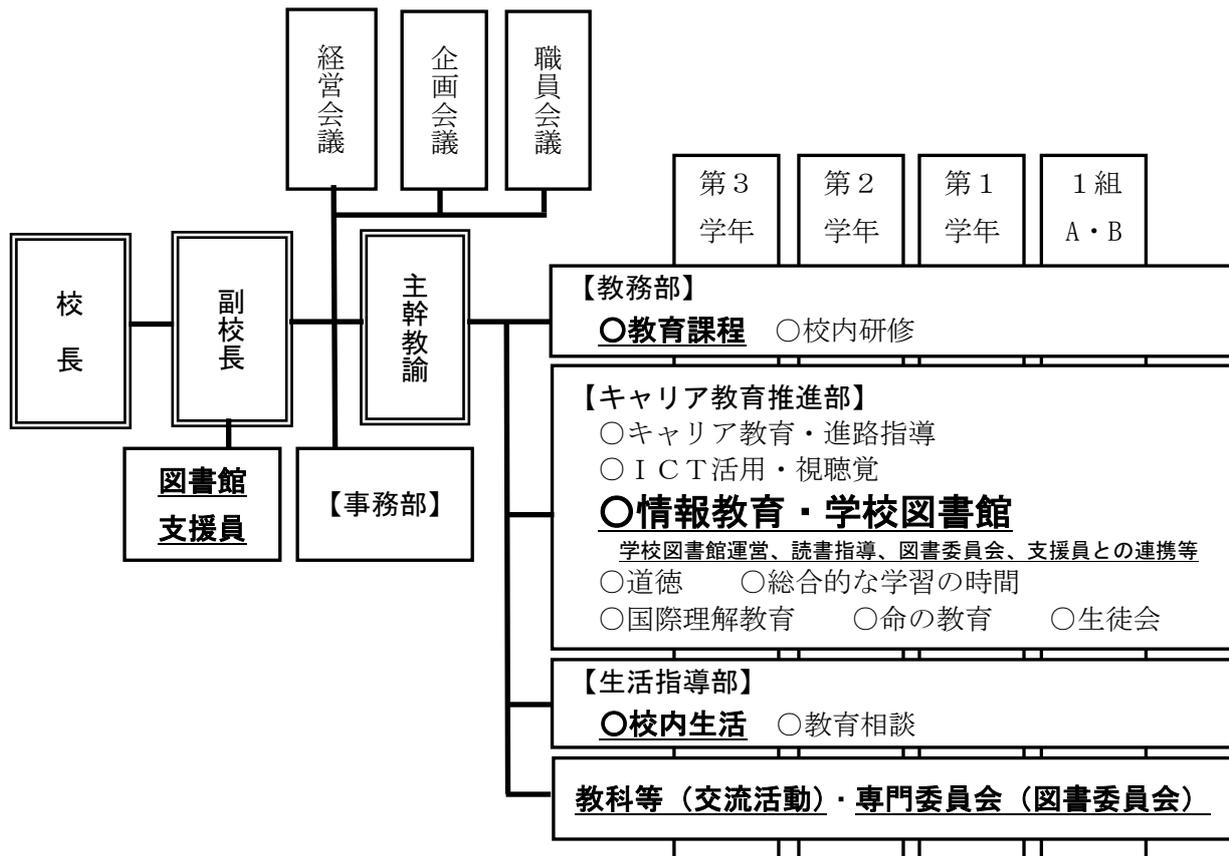
【重点2】積極的な活用指導

- (1) 学校図書館支援員と協力し、図書館メディアの配架や展示を工夫します。
- (2) 修学旅行や校外学習、職場体験（職業調べ）など、特別活動や総合的な学習の時間の授業に役立つような図書をそろえ、活発に利用できるように助言を行います。
- (3) 各教科で学校図書館を活用する機会を増やし、図書やICT機器の利用を進めます。
- (4) タブレット端末等を調べ学習用として図書とともに利活用させ、メディアリテラシーの向上を図ります。

【重点3】継続的な読書指導

- (1) 生徒の自由読書や発展的な読書を推進するとともに、そのための環境を整備します。
- (2) 適切に図書の紹介を行い、レファレンス機能の充実を図ります。
- (3) 各授業の単元の教材に関連する図書を整備し、紹介に努めます。

6 分掌上の位置付け（抜粋図）



7 年間活動計画（別紙）

8 その他

- (1) 生徒の心が安らぐ場として、学校図書館の環境整備を心がけます。
- (2) 朝読書など読書指導を行います。
- (3) 清瀬市立図書館との連携を強化します。